

## 10年ぶりに3頭のオランウータンが自然界に復帰！

インドネシアのBOS財団は、東カリマンタン州バリックパパン保護施設「サンボジャ レスタリ」から3頭のオランウータンを自然復帰させました。

過去約10年間、森林の開発・破壊が進んでいて、適切かつ安全な生息地を見つけられなかったためにオランウータンをリリースできませんでしたが、4月22日の「地球の日」に合わせて、適切かつ安全な生息地として確保された東カリマンタン州のKehje Sewen森林に3頭のオランウータンを自然の森へ復帰を始めました。

このリリースには、調整の経済的外務省、林業省、環境省、東カリマンタン州の地方政府、クタイ Kartanegara リージェンシー政府の東クタイと同様、保全と東カリマンタンの天然資源局 (BKSDA 東カリマンタン) とクタイ Kartanegara と東クタイの人々 を含むすべてのステークホルダーのコラボレーションが含まれます。

2012年4月22日3頭のオランウータンはケーシー、リサン とメールでサンボジャレスタリから、東クタイ県のKehje Sewen 森林にヘリコプターで移送されました。

自然環境順化のために必要な2日間の調整期間を過ごした後2012年4月24日に自然の森にリリースされました。

Kehje Sewen 森林はBOS財団で2009年4月21日に設立された会社PT Restorasi(RHOI)によりオランウータン が生息するための環境整備や生態系復元等に取り組んでいます。

インドネシアの法律の下で非営利団体、BOS財団が合法的に林区権を取得することはできないために、RHOIを設立して林区権を獲得し準備を進めてきました。

BOSインドネシアでは、同様の林区権を中央カリマンタンでも獲得して継続的なリリースプログラムが安全に実行できるように取り組んでいます。

BOSインドネシア財団の海外のパートナー、特にBOS オーストラリア、BOS スイスからの資金に加えて、カルカルティムムプリーマ石炭 (KPC)、中央アジア銀行(BCA)によってサポートされました。

このリリースには、空軍のヘリコプターとボゴールのスーパーピューマ航空隊、インドネシア空軍からの支援も頂きました。

インドネシア政府に代わって、経済、林業、環境大臣を統括するハッタ調整大臣により正式な承認を受けてこのリリースは行われました。

「我が国の象徴的な存在のオランウータンを最終的に彼らの生息する森林にリリースできる事を非常に誇りに思います。特にKPCとBCAのような企業が生物多様性保全に貢献する意欲を示して、実行して頂いたことに感謝申し上げます。とハッサン大臣は述べました。今後ともNgoと企業間大きなコラボレーションにより、環境貢献により、より効果的かつ持続可能な管理の方法を構築するために行われることを期待します。

またZulkifli林業大臣は、民間オランウータンのリリースへの参加を期待すると以下のように述べました。

「東カリマンタンのオランウータン のリリースは環境復元領域で実施されます。この復元環境の改善をサポートするために、今回のリリースは政府の政策と合致する事例として見ることができます。

今後の地方自治体や各地域の森林政策開発の復元をサポートする手本になると思います。

我々 は、オランウータンのリハビリの活動が非常に高価であることを認識しています。資金調達のため、私は、今後とも民間セクター、オランウータンのリリースのスポンサーになることを求めてゆきます。

「われわれは、すべての皆さんと協力して、一緒に解決策を見つけるために作業する必要があります」とハサン大臣は述べました。

農林大臣は、「オランウータンが効果的な種子の分散を行うことを説明しています。オランウータンは 20 キロまでは 1 日旅行することができ、彼らが旅行する間、種子、森の糞をくまなく分散します。

太陽の光を受けて種子が発芽し徐々に成長し、林床を形成することができます。また、毎日、巣をつくるたびに枝を折って森林キャノピを開きます。だから、オランウータンは熱帯雨林の再生に重要な役割を果たしています。」と述べています。

詳細報告は

<http://orangutanforest.wordpress.com/>

英文、写真多数あります。

## ◆ RHO I とは？

### ■ PT. RESTORASI HABITAT ORANGUTAN INDONESIA (RHOI) について

(保護林区権を管理するための BOSF 傘下の子会社です。)

2002 年からオランウータンリハビリテーションセンターは、東カリマンタンと中央ボルネオの両方で、森林破壊の進行によりリハビリを終えたオランウータンを野生にリリースすることが出来ませんでした。2007年にインドネシア政府から出されたオランウータンを2015年までにすべてのオランウータンを野生に復帰させるという政府のコミットメントを実現するために、BOSF の支配下に株式会社として RHOI は設立されました。(RHOI、インドネシアのオランウータンの生息地の復元の最初の法的所有者)上記の問題を解決するために RHOI は生態系の復元森林保護目的の林区権(IUPHHK - RE)を少なくとも 60 年、オランウータンを合法的に安全な持続可能な生息地を提供することを目的としています。この林区権は 60 年にさらに 35 年を拡張することができます。

PT・RHOI は森林の保護と修復、再生、環境管理の活動を通じて生態系を回復するように地域社会とのパートナーシップを通じて関与を確保する持続可能な森林管理を行ってゆきます。東カリマンタンの熱帯雨林の約 86450 ヘクタールを確保して、オランウータンのリリース領域として、また林区内の植物の数百種の動物と一緒に生態系の維持にとって相乗効果を生む物と期待されています。このプロジェクトは、オランウータンの明るい未来や人類の明るい未来もたらします。またこのプロジェクトは、私たち人類の共通の課題、地球温暖化による気候変動の非常に深刻な脅威から地球を救うためにも大いに役立ちます。あなたもこの取り組みの一環活動を支援することができます。あなたの助けが早急に必要です。彼らの未来は私たちの責任です。私たちが今、開始して、我々の目的であるオランウータン

のよりよい生活を維持することは、人類世界のためになることをご理解ください。(BOS 本部 HP  
<http://orangutan.or.id/>より要約)